

環境連携学習 企画紙

記入者

中信地区環境教育ネットワーク 中林

1. 支援対象校 会田中学校
2. 実施時期 平成27年10月29日
3. 学年と人数 3年1組 24名
4. 先生の希望 これからエネルギーや発電のことを調べたり考えたりする取り組みをしたいと思っている。その取りかかりとして、原発の問題をからめながら放射線に対する理解を深め、エネルギーのことに生徒たちの意識を向けたい。

5. 学習プラン

活動場所		支援内容	環境学習としての狙い	講師	必要経費
活動場所	所用時間	活動			
理科室	9:50～ ～10:40	前半:「測ってみよう!身のまわりの放射線」 放射線の説明、実験、測定 (パワボによるプレゼンと、学校周辺の放射線測定)	◎原体験 夢中になって遊ぶ、畏怖を感じる、美しさに感動する、理屈抜きで自然を感じる体験をする。	(株)環境技術センター (1名)	講師料: 5,000円 材料費: なし 支払元: トライやる
	10:55～ ～11:25	測定のまとめ 班ごとに数字を出し、疑問点は質問をする。			
	～11:45 ～12:45	後半:「考えよう!わたしたちのエネルギー」 放射線以外のエネルギーについてのプレゼン ワークシートを使い、さまざまな発電方法の長所と短所についての解説を聞く。 発電方法ごとに自分なりの点数を付け、なぜその点数にしたか理由を書く。 お互いの点数や考えを見比べ、議論する。	◎気づき 自然の中の不思議さ、面白さに気づくと同時に、課題や困難にも気づく。 ☆	NPO地域づくり工房 (1名)	講師料: 5,000円 材料費: なし 支払元: 中信環境育ネット ※特別支援-H27で終了
		※データを実証を中心に学習を展開する。 さまざまな発電方法についての長所と短所を並べて提示し、結論は出さない。 生徒の調べ学習に繋げる。	◎実験・調査 調査や実験を通して、課題を理解する。 ☆		講師料: 材料費: 支払元:
			◎社会参加への準備 課題解決に向けて何ができるかを考える。 ☆		講師料: 材料費: 支払元:
			◎社会参加 行動する。		

6. 打ち合わせ記録

日付	場所	打ち合わせ内容	出席者
10月15日	会田中学校	当日進行の詳細、学習方針、確認事項の詳細、分担打ち合わせ。	担任、環境技術センター、地域づくり工房、EEネット